

詐欺に気をつけよう

1. 提案のきっかけ

(1) はじめに

インターネットを使用しているときに、怪しい、変だなと思ったサイトに会ったことはないでしょうか。実際に私達の班では出会ったことがある人が数名いました。

そこで、詐欺についてインターネットで調べてみるとワンクリック詐欺や偽物販詐欺サイトなど引っかけやすい詐欺項目や、オレオレ詐欺など広く知られている詐欺での被害も増えている状況です。

(2) 詐欺のこと

詐欺に合わないようにするためには、詐欺を知る事が大切です。警察庁特殊詐欺対策ページによると特殊詐欺の被害件数は年間で2万7832件で被害金額約1,423億円に上るそうです。今後の生活にも影響があります。

また、偽警察詐欺という詐欺もあります。警察署特殊詐欺対策ページによると「貴方に逮捕状が出ている」や「あなたの口座が犯罪に使われている」、「まだ、逮捕候補なのでお金を払えば逮捕されない」「操作のために今すぐ口座の確認が必要だ」などの不安をあおり現金を指定され口座にふりこませる詐欺が多発しています。

2. 提案

スマートフォンやパソコンなどは、普段使い慣れているので詐欺への警戒が薄れてしまいます。なので、幅広く知られているサイトでもお金の話などが出てきたら冷静になりクリックなどをしない事を提案します。警察と言われたら、信頼できると思い込んでしまうことや、偽物などを避けるためにも、インターネットは危険なものだと思って使うことが大切です。

「危険だと思ったサイトには決して入らない。」検索エンジンなどで検索をしているとき、「このサイト怪しいな。」とか入ったサイトが「怪

しいな。」と思ったら一度サイトを離れることを提案します。サイトからの詐欺は多々あるので気をつけましょう。

3.まとめ

インターネットは、サイトによる詐欺の危険や電話による詐欺の危険があります。このようにインターネットの使い方を一度見直してみてもいいでしょうか。